

第35回

歴史地震研究会（大分大会） 公開講演会 [無料] 大友氏遺跡と慶長豊後地震

2018年

9月22日 土 15:00-17:15

J:COM ホルトホール大分【302・303会議室】 JR大分駅 上野の森口

「中世豊後府内と大友氏遺跡の発掘調査」

講師：坪根伸也 氏(大分市教育委員会文化財課 政策監)

大友氏遺跡の発掘調査では、慶長豊後地震の噴砂痕跡(液状化跡)や沖の浜(瓜生島)の位置特定の参考情報となるデウス堂の位置などが確認されました。その調査概要についてお話しいただきます。

「慶長豊後地震はどのような地震だったのか ～古文書の観点から～」

講師：平井義人 氏(日出町歴史資料館・帆足万里記念館 館長)

2013年に大分県が公表した津波浸水予測調査における古文書調査の内容や、その後、歴史地震研究会の場などで行ってきた豊後地震の津波痕跡高に関する研究成果についてご紹介いただきます。

「慶長豊後地震のモデルと別府湾の津波」

講師：佐竹健治 氏(東京大学 地震火山史料連携研究機構・地震研究所 教授)

2013年大分県津波浸水予測調査における慶長豊後型地震の断層・津波のモデルや2017年地震本部から発表された中央構造線断層帯の長期評価などについてご紹介いただきます。

入場無料，事前申し込み不要，当日先着順，定員168名

第35回 歴史地震研究会（大分大会） 研究発表会

日時： 9月23～24日(日・月)9:15～17:45

会場： J:COM ホルトホール大分 301～303会議室(受付:301会議室)

大会参加費： 会員2,000円，非会員4,000円

研究発表会プログラム等： <http://www.histeq.jp>

主催：歴史地震研究会，共催：歴史と自然を学ぶ会，後援：大分市・大分市教育委員会

お問い合わせ

歴史地震研究会行事委員会
email: rekishi2018@ml.histeq.tokyo